

平成29年第6回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	12番	小宮國暉 (60分)	<p>1. 災害に強いまちづくりに向けて</p> <p>(1) 自然災害から市民を守る取組みは、様々な状況・場面を予測（危険予知）し、マトリックス手法等を用いて対応・対策を、立てておくことが重要であると考えます。</p> <p>① 羽村市の非常配備態勢はどのようになっているか。また災害予測、規模・種別により市民に分かり易くなっているか。</p> <p>② 注意報・警報等の種類（種別、数値的な設定根拠別）はどのようなものがあるか。</p> <p>③ 市民への情報発信はどのような状況のもと、どのような方法で行うか整理されているか。</p> <p>(2) 異常な長雨のなか10月23日に大型台風21号が東海・関東に上陸した。</p> <p>① 羽村市はどのような配備態勢をとったか。</p> <p>② 羽村市内ではどのような被害があったか。その対処は。</p> <p>③ 多摩川の増水による被害について (ア) 根がらみ前水田への用水導入路が破壊されたと聞いている。復旧への対応・対策について、関係機関との連携のもと、緊急支援が必要と思うがいかがか。</p> <p>(イ) 平成14年5月に、羽村堰脇に築造された「魚道」が増水による砂利で埋まっている。増水のたびに繰り返されている状況である。設計を見直し抜本的対策が求められるがいかがか。</p> <p>(3) 11月12日「災害に強い地域づくりのための訓練」が東町地域の6町内会によって実施された。地域防災力向上を目指す上で、町内会の重要性を感じさせる意義のある企画であったと評価できる。</p> <p>① 市は本事業をどのように捉えているか。</p> <p>② 羽村市としてこのような活動を市内全域、地域ごとに展開したらいかがか。</p> <p>(4) 11月15日、羽村市は多摩ケーブルネットワーク（株）と「地域広帯域移動無線アクセスシステムの整備及び公共サービスに関する協定」を締結した。災害時避難所での情報収集等市民サービスの向上が期待できる内容と評価できる。</p>	12月5日

2 人目

1 番

高 田 和 登
(60 分)

①この事業締結によって、羽村市で新しく始まる市民サービスは、具体的にどのようなものがあるか。

2. 安心安全な、はむらの水の維持保全と事業展開

(1)水の品質管理について

①地下水の保全について、どのように取り組んでいく考えか。

②羽村市で行っている多摩川や災害指定井戸の水質検査に変化は見られるか。

③水源の水、飲料水としての水の品質管理は、それぞれどのように行っているか。

(2)水道供給施設のうち重要な 1. 取水施設（水源井戸施設）、2. 浄水施設、3. 送水設備、4. 配水塔 の4施設について伺う。

①4施設の維持管理上の課題は何か。特に地震による耐震化については。

(3)災害時の対応として、停電時、市民への速やかな給水は計画されているか。

(4)羽村の水を大切にしながら水の保全と水を活用した今までの主なる施策にはどのようなものがあるか。

(5)ペットボトル水「水はむら」の販売事業について、過去3年間の売り上げ粗利益は。

(6)はむらの水PR事業の充実にむけての具体的方針方策は策定されているか。

(7)埼玉県や長野県佐久市、熊本市でも、水資源、地下水保存に関わる条例が制定されている。平成25年にも提案しているが、羽村市でも同様の条例制定への取組みが必要と考えるがいかがか。

1. 羽村堰周辺観光の通年化について

(1)「花と水のまつり」の期間外の駐車スペースについて

①市民から奥多摩街道沿いの大型バス駐車場を通年開放してほしいとの声があった。是非、検討すべきと考えるが、いかがか。

12月5日

- ②昨年度、土地開発公社が取得した羽中4丁目整備用地は「花と水のまつり」の期間外に駐車スペースとして活用すべきと考えるが、いかがか。
- ③「花と水のまつり」の時は露店が出店される桜並木がある土地を、期間外は駐車スペースとして活用すべきと考えるが、いかがか。
- ④市内外の子育て中の世代が羽村の堰などの名所を訪問する場合、交通手段としては自動車が多いことを考えると、駐車スペースの整備は喫緊の課題と考えるが、いかがか。

(2) サイクリングロードの整備について

- ①多摩川の土手をサイクリングする方は多い。観光協会は既にレンタサイクルを実施し、市はサイクリングステーションなどの検討をしているが、サイクリングロードの整備も並行して進めるべきと考えるが、いかがか。
- ②羽村堰下橋と郷土博物館を結ぶ土手も良好なサイクリングロードになると考えるが、いかがか。

2. 高齢者に対する各種助成について

(1) 高齢者に対する各種助成の現状について

- ①「水道・下水道の使用料金の助成」「福祉電話事業」「交通災害共済の加入費助成」の助成を現在受けている人数をそれぞれ問う。
- ②上記の3種類の高齢者向けの助成の高齢者への周知方法を問う。
- ③助成を受けている人と、知らないために助成を受けていない人がいるのは不公平と考えるが、いかがか。

(2) 水道・下水道の使用料金の助成について

- ①助成される金額は13mm口径の基本料金で一律になると思うが、いくらか
- ②70歳以上の高齢者のみの世帯で市民税が非課税などの条件を満たす世帯数を、市は把握しているか。

(3) 福祉電話事業について

- ①助成した金額の合計はいくらで、一世帯当たりの平均はいくらか。
- ②65歳以上の高齢者のみの世帯で、電話がないなどの条件を満たす世帯数を市は把握しているか。

③70歳以上の高齢者のみの世帯は、条件を満たせば、固定電話があっても助成を受けられるようであるが、NTTが設置運営している電話に限定されている。他の会社の電話は対象外なのか。

④携帯電話やスマートフォンも対象になるのか。

(4) 交通災害共済の加入費助成について

①東京都市町村民交通災害共済掛金の加入者はAコース、Bコースそれぞれ何名いるか。

②65歳以上の高齢者のみの世帯で前年度の市民税が非課税であるなどの条件を満たせば、掛金500円が助成されるが、この条件を満たす世帯数を市は把握しているか。

③交通災害共済を実施している39自治体のうち、高齢者向けに公費で助成している市町村はいくつあるか。

3. 市道の舗装修繕促進について

(1) 現在の進捗状況について

①平成25年3月に「羽村市道路維持保全計画」（以下「計画」とする）ができ、平成29年1月には「道路舗装修繕実施プログラム」（平成29年度～平成34年度）が発行された。このプログラムによると平成29年度は3路線の工事を実施することになっているが、現在の進捗状況を問う。

②3路線の工事以外にも舗装工事をする予定はあるか。

③もし、予定以外の工事があるのなら、どのような理由で行うのか。

(2) 羽村市道路維持保全計画について

①計画の平成15年からの道路維持管理に要する経費を見ると、平成20年度は約1,800万円、平成23年度は約1,500万円だが、平成17年度は約4,500万円とバラつきがある。道路の舗装は市民の安全に関わることであり、コンスタントに推進する必要があると考えるが、いかがか。

②過去10年間の道路維持管理に要する経費は年間で約3,100万円であった。今後の補修経費の見込みでは、年間で約7,000万円以上と倍増している。今後はこの計画を着実に実行することが重要と考えるが、倍増した経費は確保できるのか。

3 人目

6 番

富 永 訓 正
(60 分)

- ③この計画では平成 34 年度までに延長で 2 万 1834m の舗装が予定されている。市道の総延長は 155 km であり、全市道の約 14% に過ぎない。平成 35 年度以降の計画を加えても延長で 3 万 2428m であり、全市道の約 21% に過ぎない。他の 79% の市道は舗装修繕の計画すらない。しかし、市民から計画に記載されていない市道の舗装修繕の要望が多くある。市の見解を問う。
- ④シティプロモーションの観点から考えると、道路の舗装は街の価値を上げ、移住を決意する要素として重要であると思われる。そのためには、この計画の予算を大幅に増額して、市道の舗装修繕を促進すべきと考えるが、いかがか。

1. 避難所運営および防災備蓄倉庫について

(1) 災害時の避難所となる小・中学校 10 ヶ所の避難所運営について

- ①平成 28 年第 6 回定例会にて自主防災組織による避難所運営マニュアルの整備状況を聞いたが、その後、どのように取組みが行われ、今後の見通しはどうか。
- ②それに対してこれまでに市が行ってきた支援、また、今後の支援をどのように考えているか。
- ③避難所開設までの手順と、市の役割と責任を聞く。
- ④避難所開設後の市の役割と責任を聞く。

(2) 避難所運営に不可欠な避難所用備蓄倉庫について

- ①誰でも分かるように備蓄品配置図および外装への備蓄品名の表示が必要ではないか。
- ②栄小学校の避難所用備蓄倉庫のように各備蓄倉庫内に蓄電型非常用照明が必要ではないか。
- ③各備蓄倉庫にも担架や折り畳み式のリヤカーの配備が必要ではないか。
- ④避難所となる小・中学校体育館と、避難所用備蓄倉庫の位置は学校により様々である。物品搬送経路を明確にしておく必要があるのではないか。
- ⑤乳幼児用ミルク等に必要なお湯はどのように供給するのか。

12 月 5 日

(3) 防災備蓄倉庫について

- ①誰でも分かるように備蓄品配置図および外装への備蓄品名の表示が必要ではないか。
- ②倉庫内の通路などの整理整頓の必要性が見受けられた。改善が必要ではないか。
- ③害虫等の防虫対策などをはじめ、衛生面での管理状況はどのようになっているか。

(4) 避難所用備蓄倉庫や防災備蓄倉庫に常備されている機械備品等について

- ①備蓄されている機械備品等のオペレーションマニュアルはどのようになっているか。
- ②機械備品ごとのメンテナンスおよび稼動確認についてはどのようしているか。
- ③そのようなことを含め、羽村市防災週間（3月）や防災訓練（9月）等を活用し、保管している機械備品等のメンテナンスや稼動確認を含めた運用訓練を実施してはどうか。

2. バリアフリーで人にやさしい歩道と道路を

(1) 市内の歩道・道路について、意見・要望など市民からはどのような声を聞いているか。

(2) 公共交通機関や公共施設でのハード的な整備が進みつつあるなか、道路路面補修や歩道のバリアフリー化等での整備に関する様々な課題について聞く。

- ①国・東京都との連携や方向性、整備計画等はどのようになっているか。
- ②道路舗装修繕実施プログラムが本年1月に策定されている。道路維持保全計画とともに市管理の道路・歩道の舗装修繕およびバリアフリー化がどのように、どの程度進んだか。また、これからの計画について市民にどのように伝えられているか。
- ③道路維持保全計画ならびに道路舗装修繕実施プログラムに反映されていない部分はどのようにしていくのか。
- ④羽村駅西口土地区画整理事業の長期的計画との関係から、その計画地域の道路・歩道の舗装修繕およびバリアフリー化などへの対応は、どのように進めていくのか。

(3) 国土交通省は本年6月、東京2020大会に向けたバリアフリー施策の見直しの方向性の中で、ハード面と一体となったソフト面の整備の取組

4人目

8番

大塚あかね
(60分)

みの必要性を強調し、その具体策として、バリアフリー情報の「見える化」を示している。高齢者や障害者の方にとって有用なバリアフリー情報の「見える化」について聞く。

- ①バリアフリー情報の発信の現状はどうか、また、これからの対応はどうしていくのか。
- ②多くの方が利用する歩道や道路などのバリアフリー情報を、今後、市内外に対して情報提供・発信が必要ではないか。

1. 在宅医療・介護連携推進事業と「ワンオペ介護」対策について

(1)在宅医療・介護連携推進事業の進捗状況について、東京都が公表している、都内区市町村の平成29年7月末の取組状況をもとに伺う。

- ①地域の医療・介護資源のリスト・マップは今年の秋には住民に提供される、という説明が、昨年12月定例会後あった。東京都が公表している資料をみると、羽村市は住民に対して「情報提供を行った」と答えている。いつ、どのような形で情報提供をしたのか。
- ②在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討結果について伺う。
- ③「切れ目のない在宅医療と介護体制」として、平成28年12月定例会で質問した「急変時医療機関の確保」について検討はどこまで進んでいるのか。
- ④在宅医療相談窓口の設置について、市は「地域支援包括センターで行う」と東京都の調査には答えているが、運営方法等について伺う。(場所、体制等)
- ⑤地域住民への普及啓発として、在宅医療・介護サービスに関する講演会や出前講座の開催、ホームページへの掲載等は今年度中に行うということだが、いつ行うのか。
- ⑥在宅医療・介護連携に関する関係市町村の連携について、昨年(平成28年第6回定例会)での質問で、「西多摩圏域8市町村連絡会において情報交換等を行っており、今後も、西多摩圏域8市町村に限らず、関係市町村及び医療・介護関係者等も交えた広域的な連携につ

12月5日

いて取り組んでまいりたいと考えております」という答弁だったが、具体的にどのような取り組みを行っているのか。

(2)「看取りに関する支援事業」はどのようなものか。

(3)在宅医療・介護連携推進事業の実施により、家族が家庭内「ワンオペ介護」に陥らないための支援策の充実・強化が必要ではないか。

*ワンオペとはワンオペレーションの略。2014年に某牛丼チェーン店が、アルバイト1人で店の営業を続けていたことがあり、その営業方法が「ワンオペ」と非難された。家庭内の「ワンオペ介護」とは、仕事や介護、そして家庭のことを1人ですべて行う意味。

2. 地域資源を活かした、観光施策の展開を！

(1)パワースポットには多くの人を訪れることは周知のとおりである。観光サイトを調べると、羽村市ではパワースポットとして玉川神社、阿蘇神社、羽村神社等が紹介されている。観光協会と連携し、羽村市の認知度アップを図る観点からも、羽村市のパワースポットを強力に周知・広報してはどうだろうか。

(2)羽村市名産・特産品を市が認定し「羽村市特産品」(仮称)として、販売、PRしてはどうかか。

①市の公式サイトには「名産・特産」として「B級グルメ」「はむら逸品ものがたり」「羽村銘菓」「はむら名物」の紹介や商品名のみのもものが紹介されている。それらを名産・特産品として羽村市が認定し、名前やロゴを親しみやすいものにして、「羽村市特産品」として一括したPRを行ってはどうか。

②古くから、市民から親しまれている製品・生産物、羽村市の伝統や技術によって培われた製品、羽村市の地域性を感じる製品・生産物が市内には存在している。それらを①と同様に「羽村市特産品」(ネーミングは別途検討)として扱ってはどうなのか。

③羽村市で生産される農産物やはむらの水を原材料とした加工食品、そして羽村市の特産品と認められる加工商品を「羽村市特産品」として市が認定し、紹介、販売してはどうか。

1. 介護・福祉人材の確保へ

- (1)市内の介護施設・事業所における介護・福祉人材不足の現状をどう把握し、今後の影響をどうみているか。
- (2)市としてできる対策や支援はどういったものがあるか。
- ①介護報酬制度に関して、国や都への改善要請の状況を伺う。
 - ②ハローワークや東京しごとセンターと連携し、介護・福祉職に限定した人材確保支援の取組みはできないか。
 - ③他に市独自の人材確保策はどんなことが考えられるか。
- (3)ボランティア体制の整備について
- ①施設・事業所内で活動できるよう市民ボランティアの体制を構築してはどうか。
 - ②ボランティアポイント制度、または有償ボランティア制度を構築し、やりがいも高められる介護・福祉のボランティア体制にしてはどうか。
 - ③介護・福祉の現状を知ってもらうとともに、ボランティア意識の向上を啓発するためのセミナーや市民講座、養成研修等をさらに充実させてはどうか。

2. 外国人市民への言語対応について

- (1)羽村市の外国人市民数と国籍別上位5か国、およびその使用言語を伺う。
- (2)庁舎窓口での対応について
- ①子育てや教育、生活面の相談や申請が想定されるが、どういった部署での対応が多くあるのか。
 - ②日本語が理解できない方のためにどのような対応をしているか。また、相手が十分に理解していると思うか。
- (3)学校現場において、保護者が外国人である場合の対応で、内容が伝わらず苦勞することもあると聞いているが、どのような対応をしているか。
- (4)通訳の体制について
- ①通訳の体制はどうなっているか。
 - ②通訳が対応できない曜日や時間、通訳できる言語以外の場合などの対応はどうしているのか。

6人目

14番

石居尚郎
(60分)

- ③通訳が対応する曜日や時間帯、対応できる言語種類の拡大、通訳の増員等、体制の充実が必要ではないか。
- (5) 多言語対応型音声翻訳アプリを導入したタブレットを各窓口を設置してはどうか。
- 3. マイナンバーカードで利便性向上を**
- (1) 平成29年11月からコンビニで住民票や印鑑登録証明書等が発行されるようになったが、市民への周知徹底をどう図っていくのか。
- (2) マイナンバーカードを持っている利点について
- ① 現在受けられるサービスと今後どのようなサービスを考えているか。
- ② 利点を活かすためには、カードの作成とともに電子証明書暗証番号の設定も必要だが、設定への啓発をどう進めるか。
- (3) マイナンバー個人向け専用サイト「マイナポータル」の利用について
- ① 保育や児童手当、母子保健等に関する手続きが、庁舎窓口に行かなくても、必要な添付書類を省略して、24時間どこからでも電子申請ができる「子育てワンストップサービス」が始まっている。市でも市民サービスの充実を図るため、早急な導入を望むがいかがか。
- ② 各種申請に必要な現況届など、忘れがちな手続きを事前に知らせてくれる「プッシュ型通知」の利用促進も利便性向上に効果的だが、どう進めていくのか。
- ③ それらのサービスの利用にはカードを読み取るための「ICカードリーダー」が必要である。この「ICカードリーダー」の無償貸与、または助成をしてはどうか。
- (4) セキュリティ面に対しての不安は依然としてある。より一層の対策強化を望む。

1. 羽村市動物公園とシティプロモーション

- (1) 羽村市動物公園は、本年度から管理棟と入場門、搬入口門およびトイレの新設と外柵などの大規模な改修工事が始まった。
- ① 改修工事の内容と工期について聞く。
- ② 工事車両の出入りなど周囲への安全対策をどのように行っていくか。

12月6日

- ③工事中の入園者への影響をどのように考えているか。
 - ④40年が経過した獣舎など、今後の改修をどのように考えているか。
- (2) 日本動物園水族館協会が掲げる動物園の4つの役割（①種の保存、②教育・環境教育、③調査・研究、④レクリエーション）を、羽村市動物公園はどのように果たしているか。
- (3) 動物公園を活用したシティプロモーションを、羽村市としてどのように考えているか。
- (4) 開園40周年を契機に、さらに親しまれる動物公園に
- ①今回の改修に含まれていない食事や休憩所、売店の充実は急務ではないか。
 - ②動物公園に対して愛着を持つ人々の支援・協力者の輪を広げていくべきではないか。
 - ③救急など危機管理体制をどのように充実させていくか。
- (5) 羽村市動物公園がより多くの人に親しまれていくためにも、園としての将来ビジョンを確立して長期的な計画を示していくべきではないか。

2. 土砂災害における今後の安全対策について

- (1) 地域防災計画とハザードマップについて
- ①近年、ハザードマップに示された箇所など、土砂災害の被害を受けた地域はあるか。
 - ②地域防災計画において、土砂災害における、自助、共助、公助とはどのようなものを想定しているか。
 - ③地域防災計画で洪水・土砂災害に対して、市民へ周知し備えを呼びかけている。具体的な備えや発生時における対応はどのように示しているのか。
 - ④公共機関からの情報伝達はどのような方法があり、どの程度まで市民に周知できると考えているか。
 - ⑤避難および立ち退きの勧告及び指示は、どのようなタイミングで行うのか。
 - ⑥ハザードマップの改定の時期と改定内容について聞く。
- (2) あきる野市道548号線から山の急斜面に沿う住宅地を経て郷土博物館に至る地域の安全対策について

7人目

9番

西川美佐保
(60分)

- ①この地域の近年の水害、土砂災害の状況と対応について聞く。
- ②この地域内にある特別養護老人ホーム羽村園と羽村市との災害時の協定はどのようなものか。
- ③この地域に市が設置した清流地域倉庫のより効果的な運用をどのように進めるか。
- ④山林に面する周辺の排水設備の点検や清掃は、どのように行われているか。
- ⑤東京都やあきる野市と連携して、根本的な安全対策を早急に講ずるべきではないか。

1. 集中豪雨などへの水害対策の強化を

(1) 市内の水害被害の状況と対策について

- ①昨年8月に発生した台風9号、本年の台風21号や22号等の市内の水害被害の状況を聞く。
- ②市内全域の浸水データを蓄積しているか。蓄積していないのであれば予防に活かせるデータ蓄積が必要では。
- ③自主防災組織と住民と市が連携して、地域の課題について情報共有できるような機会が必要であると考え。地域で「まちづくり出前講座」を活用できるように、もっと周知すべきでは。

(2) 「羽村駅東口周辺」の浸水被害について

- ①この地域には以前から水害被害が発生していると聞いているが、その原因は何か。
- ②これまでの被害状況と、対策はどう図られてきたか。
- ③雨水管の取り替え、集水ますの増設、雨水を雨水管へ流す対策など今後の対策は。
- ④水害被害のあった地域は、市役所通りから多く水が侵入している。予防対策として水害被害のあった道路への接続点を一定時間通行止めにして、土嚢や止水シート等で対策できないか。
- ⑤駐輪場の自転車が流れてきて怖かったという声があったが、これにどう対応するのか。
- ⑥羽村街道は都道であり、都との連携を図り、浸水防止対策を講じられないか。

(3) 緑ヶ丘地域の「学校通り踏切付近」の浸水の状況について

12月6日

- ①これまでの浸水の状況と対応について伺う。
- ②今後、どのような対策が必要と考えているか。

2. 「認知症にやさしい」安心して暮らせるまち

(1) 認知症カフェ（オレンジカフェ）とはどのようなものと認識しているのか。

(2) 認知症カフェの推進を

- ①平成 28 年 6 月議会で「認知症カフェ」の設置について質問し、市長より「設置について検討する」という回答だったが、いつ、どこでスタートするのか。
- ②歩いて立ち寄れる場として考えると、市内にできるだけ多く設置されることが望ましい。認知症カフェとしてご協力いただけるお店等を、認知症サポーター養成講座を受けて頂いた上で認定し、広く周知してはどうか。
- ③認知症カフェを実施するお店等の入り口などにマークをつけて、歩いている人にもすぐに分かるよう表示してはどうか。
- ④外出支援の 1 つとして、以前からベンチの設置を提案しているが、認知症カフェとセットにすることが可能なところは、敷地内にベンチの設置を促進してはどうか。
- ⑤認知症の方やその家族への周知はどう図るのか。

(3) 認知症専門の医療機関について

- ①羽村市でもようやく、「羽村三慶病院」が地域連携型認知症疾患医療センターとして 11 月 1 日にスタートしたが、このセンターの役割は何か。
- ②今後どのような事業が展開されていくのか。
- ③認知症疾患医療センターでは、予防事業は行われていくのか。

3. 「結婚新生活支援事業」の実施について

(1) 国の「結婚新生活支援事業費補助金交付制度」は、いつから始まり、具体的にはどのような事業か。

(2) 収入が少ない若者の結婚を支援するため、市でもこの支援事業を行ってはどうか。

1. 区画整理撤回要求第43弾

(1)川崎地域の危ない工事を聞く

- ①住宅の間際まで掘る川崎1丁目の危ない工事。目的と、今後の工事予定を聞く。
- ②工事優先地区に追加されたが緊急性はあるのか。その理由は。
- ③集団移転としたのはなぜか。対象は何棟か。
- ④家屋調査は関係地権者に、いつ、だれが、どう説明したか。基本的な流れを聞く。
- ⑤家屋の現価率や再築補償率をきちんと示す、の答弁があった。どのように公表したか。
- ⑥家屋調査を断られたときは、どう対応するか。
- ⑦移転説明はいつ、だれが、どのように、何回行ったか。
- ⑧移転には時間がかかる。補償対象となる移転期間はどのくらいになるのか。
- ⑨来年2月までに更地にするようにと迫られた地権者がいる。これが協議移転か。
- ⑩家屋補償以外の移転経費も補償することになっている。具体的には何か
- ⑪仮住まい期間は1年半と言われた地権者がいる。根拠は何か。仮に1年半を超えた場合の責任は誰がどのようにとるか。
- ⑫工事で騒音を発するが防音シートも騒音・振動計もない。施行者の設置責任ではないか。
- ⑬地域権利者の要望、苦情はどのようなものか。
- ⑭羽村大橋東詰の擁壁工事、騒音、振動、防塵等条例は順守されているか。
- ⑮羽村東小学校脇の貴重な縄文敷石遺跡が工事で撤去された。保存すべきではないか。

2. 行政不服審査請求の市民利用を聞く

(1)行政不服審査請求の市民利用を聞く

- ①行政不服審査請求とは何か。市民にとっての意味を聞く。
- ②市民にはどのように伝えているか。
- ③請求方法と、提出後の審査プロセスを聞く。
- ④過去5年の羽村市民からの請求件数は羽村市、上級庁を含めてどうか。
- ⑤区画整理事業では、どの処分が審査対象で、審査庁はどこか。
- ⑥今までに区画整理事業での請求はあったか。結果はどうか。

9人目

2番

浜 中 順
(60分)

⑦移転実施計画報告書の開示請求に対する一部開示の決定を不服として審査請求され、情報公開・個人情報審査会において口頭意見陳述が行われた。裁決結果を聞く。

12月6日

1. 学校教育の充実を

(1)教育相談件数の多さに見合ったスクールカウンセラーなどの配置の増強を

発達や教育の困難さを抱えた子どもたち、保護者、教員にとって、専門的な知識を備えたスクールカウンセラーなどによる相談は欠かせない。迅速な対応が必要とされるなかで、今の相談件数からするとスクールカウンセラーの配置が不十分という声が多い。早急に、各学校へのスクールカウンセラーなどの配置を増強すべきと考えるがどうか。

(2)学校図書館の充実を

①全小中学校に司書教諭を配置すべきと考えるがどうか。

②司書教諭が配置されるまでの間、現在の図書館司書が全校で週5日の全日勤務ができるようにすべきと考えるがどうか。

③子どもたちの多様な要望に応えられるよう蔵書数をもっと増やすべきと考えるがどうか。

(3)学習サポーターの増強を

①特別支援の体制が整えられつつあるが、まだまだ通常学級には、授業の手助けを必要とする児童が存在すると聞いている。一人ひとりの子どもたちの発達を保障するためには、各小学校1日4時間の学習サポーターでは足りないという声が多い。本来は正規教員数を増やして少人数学級を実現すべきと考えるが、次善の策として、学習サポーターなどの支援の日数・時間数を大幅に増やす対応を取るべきと考えるがどうか。

②中学校についても同様に、学習サポーターを置くべきではないか。

(4)就学援助の入学準備金の3月支給を。部活動費用やPTA会費に就学援助の支援金を。

10 人目

10 番

橋 本 弘 山
(60 分)

- ① 準要保護者の就学援助の新入学用品費を、目的に沿って3月に支給すべきと考えるが、速やかに実施できないのはなぜか。
- ② 主に中学校の部活動は、運動用具やユニフォームなど多くの費用がかかり家計を圧迫している。就学援助で支援をすべきと考えるがどうか。また、PTA会費についても支援すべきではないか。

2. 危険な米軍基地の返還運動を広げよう

- (1) 羽村市は、第五次長期総合計画後期基本計画の基地対策の中で「今後の方向性」として「横田基地の整理・縮小・返還に向け、市民生活の安全・安心を守ることや、国の交付金などの拡充について、国や米軍に対する要請等に取り組むほか・・・」と掲げている。この立場で、横田基地に飛来した米軍用機が、相次いで墜落している危険に対して、市長を先頭に市民集会を開催したり、市長自ら米軍に横田基地の返還要請をするなど、市民とともに運動を広げるべきではないか。市長の見解を伺う。
- (2) 横田基地は、日常的にパラシュートで物資を投下する訓練が行われている。11月15日、C-130輸送機3機で飛行訓練を行っていてパラシュート投下をしようとして、物資の箱がパラシュートから脱落し、滑走路中央付近に落下する事故があった。原因究明を求めるとともに、今後このような訓練はやめさせるべきではないか。市長の見解を伺う。

1. 多摩川の氾濫に備えた水害対策について

- (1) 羽用水路の大規模修繕工事について
 - ① 羽用水路の現在の状況について
 - ② 今後の修繕工事の予定について
- (2) 大正土手未整備箇所の整備について
 - ① 現在までの進捗状況とその課題は何か。
- (3) 羽用水路の大規模修繕工事と大正土手未整備箇所の整備を同時に行うことが一番効果的であると思われるが、市はどう考えるか。
- (4) その場合の課題は何か、それをどう解決していくのか。

12月6日

			<p>(5) 国土交通省や地権者等との連携や情報交換を行いながら、これらの工事を積極的に推進すべきと考えるが羽村市の取組みは。</p> <p>2. 羽村市動物公園のPRの推進について</p> <p>(1) 羽村市動物公園の運用について</p> <p>① 過去5年間の入場者数と、入園料収入の推移は。</p> <p>② スポンサー制度の導入を検討してはいかがか。</p> <p>③ 民間企業や一般個人の協賛を得て動物公園基金（仮称）を設立してはいかがか。</p> <p>④ サポーター制度の導入を検討してはいかがか。</p> <p>⑤ 様々な補助金を積極活用し、獣舎の改善費用の捻出を図るべきと考えるがいかがか。</p> <p>(2) 観光資源として羽村市動物公園をどう考えているのか。</p> <p>(3) 羽村の魅力発信をしていく上で、羽村市動物公園をどう捉えているのか。</p> <p>(4) 今後、羽村市動物公園のあり方について羽村市はどう考えているのか。</p> <p>3. ドローン（小型無人機）の活用について</p> <p>(1) 近年、各自治体で防災への利用、地域活性化としての撮影利用、防犯への活用など様々な取り組みが始まっている。近隣自治体での取り組み状況を把握しているか。</p> <p>(2) 羽村市の魅力発信をするためにもドローンを積極的に活用してはいかがか。</p> <p>(3) 今後、ドローン活用への取組みについて調査研究をしてはいかがか。</p>	
11 人目	16 番	<p>瀧 島 愛 夫 (50 分)</p>	<p>1. 学校給食費について</p> <p>(1) ここ数年の未納額（学校別、総額）の推移を伺う。</p> <p>(2) 現在の方策を継続することで未納が解消すると思うか伺う。</p> <p>(3) 平成 24 年施行の児童手当法の一部を改正する法律の施行により、児童手当を学校給食費に充てることが可能になった。羽村市では、給食費の未納を減らす手段とする考えはあるのか伺う。</p>	12 月 6 日
12 人目	18 番	<p>門 間 淑 子 (60 分)</p>	<p>1. 投票率の向上を目指そう</p> <p>(1) 報道では、投票率は過去最低を免れたとあった</p>	12 月 7 日

13 人目

3 番

印 南 修 太
(60 分)

- が、羽村市の投票率は何%だったか。
- (2)年代ごとの投票率は、それぞれ何%だったか。
- (3)期日前投票は何%だったか。
- (4)投票率向上のため、どのような啓発活動を行ったか。
- (5)土曜日は、期日前投票所・駐車場ともに大変混み合った。案内板の設置や白線の明確化など工夫が必要と考えるが、どうか。
- (6)働く世帯の増加・働き方の変化が進んでいる。通勤・通学途中での投票や子育て世代が投票しやすいように、羽村駅や小作駅の周辺に期日前投票所を設置してはどうか。

2. 昭島の可燃ごみ受け入れは慎重に

- (1)担当部課長による検討会議では、判断材料の一つとしての3項目の調査報告書は、どのように検討されているか。
- (2)国の廃棄物処理施設整備計画では、既存施設の更新・改良を適切に行い、廃棄物処理システムの強靱性を確保する必要があると指摘しているが、検討会議では昭島清掃センターの強靱性はどのように判断しているか。
- (3)首都直下地震などの大規模災害が予想され、大量の災害廃棄物の処理が課題となっているが、平成31年度をもって清掃センターを廃止することは、災害対応として間違っていないか。
- (4)5月に提出された「加入反対署名」は、どのように検討されているのか。
- (5)西多摩衛生組合は平成50年まで利用できるが、その後の見通しは立っていない。昭島市の加入により、現在地にさらに長期固定化するのではないかと懸念が消えないが、市長の見解を伺う。

1. 観光施策について

- (1)東京都の「観光まちづくり推進支援事業」を利用し、水上公園の駐車場を宮ノ下グラウンドの福生市側に整備できないか。
- (2)平成29年度新規事業の「光を活用した観光振興への支援事業」を利用し、花と水のまつり期間中に、羽村の堰や桜のライトアップをより一層充実させられないか。
- (3)花と水のまつりの駐車場は従来のグラウンド

12月7日

14 人目

4 番

富 松 崇
(50 分)

等ではなく、羽村駅西口周辺に用地を確保し、観光案内所から電気バスはむらんによるシャトルバスを運行してはどうか。

2. 羽村市の震災対策について

(1) ライフラインについて

- ① 発災後、市内全域で断水した場合に給水可能な施設は何か所あるか。
- ② 羽村市のライフラインを優先的に復旧する事業者はどのくらいあるか。

(2) 避難所について

- ① 指定外の避難場所や車中泊の避難者への対応は想定しているか。
- ② 羽村市と市内の私立幼稚園・保育園とは避難所協定などはあるか。

(3) 職員体制について

- ① 発災直後における役割は、個人レベルまで決まっているか。
- ② 避難者の健康管理と同様に、職員の健康チェックも重要だが想定しているか。

1. 公共施設への Wi-Fi 環境の整備について

(1) 公共施設への Wi-Fi 環境の整備状況について

- ① 平成 28 年 3 月議会において Wi-Fi 環境の整備について質問し、公共施設や人が多く集う場所などへの設置について取り組んでいくとの答弁があった。その後の整備状況について伺う。
- ② 現在、Wi-Fi 環境を提供している施設において、どのような方にどのような方法で利用出来るようにしているのか伺う。
- ③ 施設利用者からの意見・要望等はあるか。

(2) 今後の Wi-Fi 環境の整備計画について

- ① 生涯学習センターゆとろぎ全フロアで環境整備する考えはないか。
- ② 図書館・スポーツセンター・スイミングセンター・動物公園・保健センター等への設置は。
- ③ 庁舎での Wi-Fi 環境の整備は必要だと考えるが、いかがか。

(3) 多摩ケーブルネットワーク株式会社との協定について

- ① Wi-Fi の利用環境の整備はどのようなものか。

12 月 7 日

15 人目

7 番

鈴木拓也
(60 分)

- ②羽村駅・小作駅周辺で常時使用できる無線アクセスポイントが提供されるようだが、どのようなものなのか。
- ③今後、駅周辺以外でも無線アクセスポイントが提供される予定はあるか。

12 月 7 日

1. 学校給食費を無料化しよう！

- (1)羽村市において少子化はどのように進行しているか。
- (2)少子化を克服するためには、子育てにおける経済的負担を軽減することが重要だと考えるが、市の認識はどうか。
- (3)「東京で子育てしやすいまち」を市内・市外に発信して、若い子育て世帯の増加を図っていくというシティプロモーションについて
 - ①これまでどんな取組みを行ってきたか。
 - ②どういう成果が生まれているか。
 - ③これからどうしていく計画か。
 - ④子育て世帯をターゲットにシティプロモーションに取り組んでいる自治体は多くある。それらと比べて羽村市の取組みはどこが違うのか。
- (4)学校給食費の無料化を提案する
 - ①「学校給食費の無料化」のような思い切った施策に取り組むことが、少子化の克服、シティプロモーションの成功には必要ではないか。
 - ②就学援助制度などで、給食費が実質無料になっている児童・生徒は全体の何パーセントか。
 - ③児童・生徒全員の学校給食費無料化を図るためには、どのくらいの経費が必要か。在籍児童・生徒の第2子以降、または第3子以降の無料化の場合の経費はどのくらいか。
 - ④予算が厳しい羽村市で学校給食費無料化を実現するためには、多くの市民が反対し、多額の予算を使っている羽村駅西口土地区画整理事業の見直しが必須であるとする。見直しをすべきではないか。

2. 国民健康保険はどうなる？（その2）

- (1)都道府県化について、東京都からは何が示されたか。羽村市の国民健康保険税（料）はどうなるのか。
- (2)羽村市国民健康保険運営協議会では、どのよう

16 人目	15 番	濱 中 俊男 (30 分)	<p>な議論が行われているのか。今後のスケジュールはどうか。</p> <p>(3) 国民健康保険税(料)が値上げとならないよう、羽村市は努力すべきと考える。都への働きかけ、繰入金の実施などについて、市はどのように考えているか。</p> <p>3. 江戸街道公園の整備はどうなっているのか?</p> <p>(1) 江戸街道公園の整備について、具体化は進んでいるか。いつごろまでに行う予定か。</p> <p>(2) 設備の改修・充実について</p> <p>① トイレの整備はいつ、どのように行うのか。</p> <p>② 公園内・周辺道路の排水設備の整備はいつ、どのように行うのか。</p> <p>③ ボールが道路へ転がり出てしまうことがある。ネットの整備はいつ、どのように行うのか。</p> <p>④ 公園に時計がほしいとの声がある。いつ、どのように対応するのか。</p>	12 月 7 日
17 人目	17 番	水 野 義 裕 (60 分)	<p>1. 羽村市の美術教育について</p> <p>(1) 小中学校での図工・美術教育の現状は、またクラブ活動等の現状は。</p> <p>(2) 小中学校での音楽教育の現状は、またクラブ活動等の現状は。</p> <p>(3) 学校での美術教育と音楽教育に要する経費はそれぞれどうか。(平成 29 年度)</p> <p>(4) 美術教育の重要性についてはどう考えているか。</p> <p>(5) 生涯学習の視点から、青梅市やあきる野市等で行っている公募展を開催すべきでは。</p> <p>1. 2018 年度地方財政の政府方針への対応は</p> <p>(1) 経済財政運営と改革の基本方針等への対応</p> <p>① 子ども・子育て支援で子ども保険の創設についてどう考えているか。</p> <p>② 子ども・子育て安心プランについてはどうか。</p> <p>(2) 一般財源総額確保と地方財政健全化</p> <p>① 地方消費税精算方法の見直しについてはどうか。</p> <p>② 税務行政の効率化についてはどうか。</p> <p>③ 地方税の電子化についてはどうか。</p>	12 月 7 日

(3) 地方行政サービス改革と財政マネジメント強化

①アウトソーシングの拡大では、総合事務センターの導入等が挙げられているがどうか。

②情報システムのクラウド化では、単独ではなく複数自治体の連携を進めようとしているようだがどうか。

③財政の見える化についてはどうか。

(4) 方針について、政府に何らかの意見具申などをしたか。

2. 羽村駅西口土地区画整理事業の今後は

(1) 計画の公表について

9月定例会で、10年間の計画を示すべきではと質問したが、地権者には計画を示しているとのことだった。地権者に尋ねたところ、その地権者の移転に関する計画だけが提示されているとのことだった。計画を公表されない事業は、どこに行くかを船長しか知らない船のようで、乗客である市民は不安を募らせるだけだ。事業を進めるうえで不安を取り除き、財政にどのような影響があるかを把握するためにも、長期の計画を公表すべきと考えるがどうか。

(2) 事業の進め方について

①所有権の移動は契約書を伴うのが一般的だが、この事業では地権者が事業に協力していただける（契約した）と何をもって判断しているか。

②その後生じる様々な手続きについて、どんなものがあり地権者にどのように説明しているか。

(3) 曳家から再築に代わると総費用はどうか試算したか。事業費にどのような影響を及ぼすか。

(4) 事業のコンセプトの一つ、「コミュニティに配慮したまちづくり」について

①重要なコミュニティである町内会が、換地により変わる世帯は、現在の区割りでいくつあるか。

②事業の進展に伴い、町内会はどうか考えているか。

3. 羽村市の義務教育の現状は

(1) 学校現場・教育委員会に配置されている教員・正職員以外の方々について

- ①どのような目的・職名（〇〇コーディネータ等）で、何名が、どのような処遇（雇用・勤務形態等）で配置されているか。
 - ②それらの方々は誰が業務・勤務管理等しているか。
 - ③教育委員会は上記②にどのように関与しているか。
 - ④臨時職員で、5年以上継続している方がいるか。
- (2) 英語教育について
- ①全体の企画は、誰がどのように担当しているか。
 - ②これまでの英語教育の成果を、どのように把握・評価しているか。今後はどうか。
- (3) 教員の勤務管理について
- ①勤務時間（残業）の調査をされたようだが、結果はまとまったか。また、それを今後どのように活用するのか。
 - ②以前、タイムレコーダーの設置を提案したが、その後検討は進んだか。